

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道497号（西九州自動車道）伊万里道路		事業区分	高規格B	事業主体	国土交通省 九州地方整備局		
起終点	自：佐賀県伊万里市南波多町府招 至：佐賀県伊万里市東山代町長浜				延長	約 8 km		
事業概要	一般国道497号伊万里道路は、唐津道路や唐津伊万里道路、伊万里松浦道路とともに高規格幹線道路網を形成する西九州自動車道の一環として計画された自動車専用道路であり、これらと連担して九州西北部における相互交通の利便性の向上、高速定時性の確保に伴う輸送時間の短縮により、新たな地域経済の活性化の核として大きな役割を果たすことが期待される。							
H 7年度事業化	H - 年度都市計画決定	H - 年度用地着手	H - 年度工事着手					
全体事業費	249 億円	事業進捗率	1%	供用済延長	0.0 km			
計画交通量	22,600台/日							
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 2.7  (残事業) 2.8	総費用：(残事業)/(事業全体) 315/319億円 (事業費：245/249億円) (維持管理費：70/70億円)	総便益：(残事業)/(事業全体) 505/505億円 (走行時間短縮便益：404/404億円) (走行費用減少便益：59/59億円) (交通事故減少便益：42/42億円)	基準年：平成16年				
事業の効果等	・交通渋滞の緩和、走行安全性の向上（伊万里市市街地部の、渋滞緩和及び死傷事故率の軽減） ・国土・地域ネットワークの構築（日常生活中心都市である伊万里市と唐津市との交流促進） ・物流効率化の支援（農水産品を中心とした物流支援）（他9項目に該当）							
関係する地方公共団体等の意見	西九州自動車道は地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、唐津市をはじめ、沿線自治体首長で構成される西九州自動車道建設期成会の定期総会の設立など、地元の気運は高まっている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	伊万里工業団地の新規立地（H10.3）等のため、伊万里市への求心性は年々高まっている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等	現在までの進捗状況は全体事業費の1%となっている。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	必要な関係機関との調整を行うとともに、地権者等への事業の必要性について理解を得られていることから、円滑な事業推進が可能である。今後も引き続き都市計画決定に必要な環境影響評価の実施や都市計画決定に向けての手続きを行うこととしている。							
施設の構造や工法の変更等	平面、縦断線形の見直しによる構造物延長の縮小やローコストICの採用によるコスト縮減を図る。							
対応方針	事業継続							
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>標準横断</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>事業位置図</p>  </div> </div>							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。